

学校法人三島学園 平成25年度事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

学校法人 三 島 学 園

この報告書は、学校法人三島学園の平成 25 年度の事業の概況をとり纏めたものである。

この報告書の構成は、次の I～IV 章からなっている。

- I. 学校法人の概要
- II. 設置している大学、短大、高校及び幼稚園、保育園に関する基本情報
- III. 平成 25 年度の事業の概要
- IV. 財務の概要

I. 学校法人の概要

1. 設置する学校等とその所在地

学校法人三島学園は、現在東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校及びますみ幼稚園の四つの教育機関とますみ保育園を擁している。

平成 25 年 5 月 1 日現在の理事長名、設置学校の所在地等は下記のとおりである。なお、図 1-1 に所在地を示すマップを掲げた。

理事長 浅尾豊信

東北生活文化大学	学長：秋葉征夫	仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2
東北生活文化大学短期大学部		
東北生活文化大学高等学校	校長：光井 正	
ますみ幼稚園	園長：高橋 守	仙台市太白区向山四丁目26番34号
ますみ保育園	園長：齋藤美和子	

2. 法人の事業目的と建学の精神

学校法人三島学園の寄附行為第 3 条には、学園の目的として、「この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、時世の求める理想的な教育を施し、設立者である三島駒治及び三島よしの教育精神を体し、わが国教育の振興改善と人材育成に寄与することを目的とする。」と謳われている。この文にある設立者三島駒治及び三島よし先生の教育精神は、とりもなおさず建学の精神であり、それは一つには明治時代において東北地方における教育の実態が本邦他の地域に後れを取っていたことに危惧の念を抱き、二つには青年女子教育の重要性を強く認識したことであった。その認識の上に立って奉仕的事业として東北法律学校と東北女子職業学校が創設された。すなわち高い志を持った明治の東北人による「教育の重要性の認識」が建学の精神そのものであった。

東北女子職業学校創設の当初、教育勅語に則った校訓を制定して教学に当たったが、第二次大戦後、財団法人から学校法人に改組した際に初代理事長となった佐藤 兎（さとうなおし）先生が、大正 3 年に制定された校歌（四竈仁邇先生作詞・選曲）の歌詞から、“励み、謹み、慈み”の 3 語を建学者の教えとして新たな解釈を加え、これが校訓として現在に至っており、虹の丘キャンパスの正門付近にはこの校訓を刻した石碑が建立され、平成 2 年に制定された現在の校歌にもこの校訓が取り入れられている。

また、設立者を偲び、建学の精神に思いを馳せる試みとして、毎年夏に、三島駒治先生の出生地岩手県奥州市江刺区米里人首に教職員による墓参を実施しているほか、両先生の菩提寺

である仙台市北山の輪王寺に役員による墓参が行われている。

3. 学校法人三島学園の沿革

三島学園の沿革を表1-1に示した。

表1-1 三島学園の沿革

明治33(1900).10.6	三島駒治先生，東北法律学校設置認可を受け，10月28日，仙台市東三番丁に開校「夜間，修業年限：本科（三ヵ年）別科（一ヵ年）」
明治36(1903).10.10	東北女子職業学校（本科・別科・高等研究科）設置認可。10月27日教育勅語を奉戴し，この日を創立記念日とする。
大正2(1913).9	仙台市清水小路三番地に新校舎が落成し，東三番丁より移転
大正11(1922).3.31	東北帝国大学に法文学部が設置され，使命が達成されたとして東北法律学校を廃止
大正13(1924).3.10	東北女子職業学校の高等研究科を廃止し，専攻科及び師範科を設置
大正13(1924).5.13	実業学校令職業学校規程による学校として設置認可
大正15(1926).3.9	東北女子職業学校に高等師範科（修業年限三ヵ年）の設置認可
昭和 3(1928).3.8	東北女子職業学校に高等師範科・研究科設置認可
昭和15(1940).3.25	財団法人三島学園設立認可（理事長，三島駒治）
昭和19(1944).4.15	東北女子職業学校を東北女子実業学校（中等学校令・実業学校規）と改称，本科以外の各科を廃止，新たに専攻科第一部（旧高等師範科），専攻科第二部（旧専攻科）設置認可
昭和22(1947).3.31	三島学園女子専門学校を設置認可，学制改革により東北女子実業学校に三島学園女子中学校を併設
昭和23(1948).3.31	学制改革により三島学園女子高等学校の設置認可，東北女子実業学校廃止
昭和24(1949).4.1	女子高等学校に美容科（別科，修業年限一ヵ年）を設置
昭和26(1951).2.22	財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組（理事長，佐藤 允）
昭和26(1951).2.27	三島学園女子短期大学の設置認可。6月3日，開学式挙行
昭和26(1951).3.31	三島学園女子専門学校廃止
昭和27(1952).3.27	三島学園女子高等学校専攻科を，三島学園女子短期大学別科として設置認可
昭和27(1953).4.1	三島学園女子高等学校二部に（夜間四年制）を設置
昭和28(1953).10.27	三島学園創立50周年記念式典挙行（創立を明治36年，西暦1903年とする）
昭和29(1954).4.1	三島学園女子短期大学第二部（夜間二年制）及び同別科被服専修第二部（夜間一年制）を設置
昭和30(1955).3.31	三島学園女子短期大学家政専攻科（一年制）を設置
昭和30(1955).4.30	三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園設置認可。同年5月28日，開園式挙行
昭和33(1958).1.10	三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可，同年，6月3日開学式挙行
昭和33(1958).3.31	三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止
昭和37(1962).4.1	三島学園女子短期大学に体育科を開設
昭和40(1965).4.1	三島学園女子大学家政学部生活理学科，生活美術学科を増設
昭和43(1968).4.1	三島学園女子高等学校に商業科を開設
昭和44(1969).3.3	三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可。同年4月1日開園
昭和45(1970).3.31	三島学園女子中学校廃止
昭和47(1972).3.31	三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止
昭和49(1974).4.1	三島学園女子短期大学体育科廃止届出，受理

昭和49(1974).12.2	大学・短大・高校，仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生十四番地（現校地）に全面移転完了
昭和51(1976).3.31	三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出，受理
昭和55(1980).4.1	学園の所在地の表示，泉市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍変更
昭和56(1981).4.1	三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を同短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称認可
昭和57(1982).9.30	三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可
昭和58(1983).10.27	三島学園創立80周年記念式典挙行
昭和62(1987).4.1	三島学園女子大学を東北生活文化大学に改称し，男女共学制を導入
昭和62(1987).4.1	三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園・同虹の丘ますみ幼稚園の名称を，それぞれ「ますみ幼稚園」・「虹の丘ますみ幼稚園」に改称
昭和63(1988).4.1	仙台・泉両市の合併により，所在地の表示，仙台市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍変更
平成元(1989).4.1	仙台市の政令指定都市移行に伴い，所在地の表示が仙台市泉区虹の丘一丁目十八番地の二に地籍変更
平成2(1990).10.6	三島学園創立90周年記念式典挙行（創立を明治33年，西暦1900年とする）
平成4(1992).9.22	女子高等学校美容科（別科）の平成5年度生徒募集停止届出
平成5(1993).3.31	女子高等学校美容科（別科）の廃止
平成7(1995).9.23	虹の丘ますみ幼稚園の園児募集停止
平成9(1997).4.1	虹の丘ますみ幼稚園の休園
平成10(1998).3.31	虹の丘ますみ幼稚園の廃止
平成12(2000).9.30	創立百周年記棟の竣工
平成12(2000).10.27	創立百周年記念式典挙行
平成13(2001).1.17	「一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与」により河北文化賞受賞
平成13(2001).2.27	三島学園女子高等学校が文部科学省および総務省から「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」の指定校に登録
平成13(2001).4.1	三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に変更
平成13(2001).4.1	仙台圏大学圏の単位互換制度が発足
平成13(2001).4.1	三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置
平成13(2001)11.15	虹の丘ますみ幼稚園廃止に係る寄附行為変更
平成14(2002).4.1	三島学園女子高等学校普通科に「保育コース」を設置
平成15(2003).4.1	三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校に改称し，男女共学制を導入。商業科を「情報ビジネスコース」と「経営デザインコース」の2コースに編成
平成15(2003).4.1	大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置。栄養士ならびに管理栄養士の養成施設として認可
平成16(2004).4.1	三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し，男女共学制を導入
平成16(2004).4.1	ますみ保育園をますみ幼稚園に併設，開園
平成17(2005).4.1	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置。厚生労働省から保育士養成施設として認可
平成18(2006).4.1	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻が幼稚園二種免許の課程として認可
平成18(2006).4.1	学園に子育て・家庭支援センターを開設

平成19(2007).4.1	東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称
平成19(2007).10.2	東北生活文化大学高等学校耐震工事完了 (H19.7.20～H19.10.1)
平成20(2008).3.19	東北生活文化大学が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている。」と認定
平成20(2008).8.2	東北生活文化大学50周年記念式典，祝賀会を挙行
平成22(2010).3.17	三島学園産学連携協議会発足
平成22(2010).3.18	短期大学部が「短期大学基準協会が定める第三者評価基準を満たしている。」と認定
平成22(2010).12.8	創立百十周年を祝う会を挙行
平成23(2011).3.11	東日本大震災被災
平成23(2011).4.1	大学家政学部生活美術学科に4コース（アートな職人コース，アートインストラクターコース，アーティストコース，デザイナーコース）を設置 短期大学部生活学専攻にフードエンターテインメントコース設置
平成24(2012).1.14	短期大学部創立60周年記念式典並びに記念講演会を挙行
平成24(2012).11.30	短期大学部新体育館竣工
平成25(2013).4.1	短期大学部に栄養士養成課程の食物栄養学専攻設置
平成25(2013).4.1	東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科設置
平成25(2013).4.1	ますみ幼稚園，ますみ保育園の名称を東北生活文化大学短期大学部附属とする改正

4. 組織

図1-2に学校法人三島学園の「組織機構図」を示した。

5. 設置する学校・学部・学科等とその入学定員及び在籍者数の状況

第2章の表2-2に示す平成25年5月1日現在の「学校等の収容定員及び在籍数」参照

6. 役員・評議員の概要及び理事会・評議員会の開催状況

(1) 役員・評議員の概要

寄附行為の定める役員・評議員の定員は，理事：7人以上11人以内。監事：2人以上3人以内。評議員：16人以上25人以内である。平成25年5月1日時点の役員・評議員は表1-2に示すとおり，理事10人，評議員21人の構成となっている。

表1-2 役員

区分	氏名	寄附行為選任条項	選任条文
理事長	浅尾 豊信	6-2	理事の互選
理事	秋葉 征夫	7-1-1 大学・短大学長	学長，校長，園長の互選（1～2名理事会選任）
〃	光井 正	7-1-1 高校長	
〃	鈴木 裕	7-1-2 同窓会長	評議員の互選（2名評議員会選任）
〃	梶原千代子	7-1-2 同窓会顧問・同東京支部会長	
〃	浅尾 豊信	7-1-3 前学長	学識経験者（3～8名評議員の意見を聴いて理事会で選任）
〃	大庭 清	7-1-3 大学教授・事務局長代行	
〃	菅 福彦	7-1-3 前事務局長	
〃	齋藤 宗雄	7-1-3 会社員	
〃	鈴木 衛	7-1-3 前高校長	
〃	林 文男	7-1-3 前大学教授	

監事	小坂 信雄	第8条	理事会で選出し, 評議員の同意を得て理事長が選任
〃	三島 卓郎	第8条	

表1-3 評議員

氏名	選任条項	選任条文
光井 正	第24-1-1 高校長	学長, 校長 (1~3名理事会選任)
齊藤美和子	第24-1-2 教職員	教職員から選任 (4~5名理事会選任)
高橋 守	第24-1-2 〃	
沼澤 隆	第24-1-2 〃	
松尾 広	第24-1-2 〃	
吉田 実	第24-1-2 〃	
笠松 佑子	第24-1-3 同窓会	
梶原千代子	第24-1-3 〃	
神田 和子	第24-1-3 〃	
鈴木 裕	第24-1-3 〃	
須藤 佑子	第24-1-3 〃	
田母神禮子	第24-1-3 〃	
山田 靖子	第24-1-3 〃	
大庭 清	第24-1-4 理事	理事から選任 (3~4名理事会選任)
菅 福彦	第24-1-4 〃	
林 文男	第24-1-4 〃	
秋葉 征夫	第24-1-5 学識経験者	学識経験者から選任 (4~6名評議員会選任)
齋藤 宗雄	第24-1-5 〃	
鈴木 衛	第24-1-5 〃	
早坂 貞彦	第24-1-5 〃	
西野 徳三	第24-1-5 〃	

(2) 理事会・評議員会の開催

平成25年度の理事会及び評議員会の開催状況は表1-4及び表1-5に掲げたとおりである。

表1-4 平成25年度理事会開催状況

年	月	日	主 な 議 題	出席	定数
25	5	25	①平成24年度学校法人計算書類(案)及び事業報告書(案), ②平成24年度の学校法人の業務及び財産の状況に関する監査報告, ③平成25年度賞与(期末・勤勉手当)の支給額, ④平成25年度役職手当, ⑤第2号基本金の組入, ⑥その他	10	10
25	10	12	①学校法人三島学園管理監督職員の指定, ②年功昇給制の見直し, ③ますみ保育園の定年延長, ④時間休の検討, ⑤規定類の制定・改正, ⑥その他	9	10

26	1	25	①学校法人三島学園管理監督職員の指定及び手当，②大学・短大教員の年功昇給制の見直し，③ますみ保育園60歳定年退職者再雇用規定の制定，④非常勤講師任用細則の制定，⑤平成26年度被災者支援，⑥平成25年度補正予算(案)，⑦その他	10	10
26	3	22	①平成25年度補正予算，②平成26年度予算，③教職員人事，④役員人事，⑤規程類の制定・改正，⑥その他	10	10

上表のほか，寄附行為施行細則に基づく学内理事会が，学内理事及び監事出席の下に，定例会合として11回開催された。なお学内理事会には，学内に常勤の役職を有する理事4名のほか，監事1名，理事長が必要と認める理事以外の教職員10名（うち評議員3名）が常時出席した。

表1-5 平成24年度評議員会開催状況

年	月	日	主 な 議 題	出席	定数
25	5	25	①平成24年度学校法人計算書類(案)及び事業報告書(案)，②大学の将来構想，③平成25年度施設整備事業，④その他	21	21
26	3	22	①平成25年度補正予算，②平成26年度予算，③教職員人事，④役員人事，⑤その他	20	21

(3) 公認会計士による監査状況

公認会計士による監査は，契約に基づき，公認会計士が次に記した時期に来校し，監査を実施した。その際，理事長及び監事とそれぞれ個別面談の時間を設け，監査内容や学園業務に関する意見を公認会計士から直接聴取し，連携を深めることを意図した。

第1回：平成25年5月20～23日（決算監査 4日間）

第2回：平成25年11月19～21日（中間監査 3日間）

第3回：平成26年3月19～20日（年度末監査 2日間）

7. 教職員の概要

教職員数は表1-6に掲げたとおりである。教員には学長，校長，園長を含む。

表1-6 教職員数（平成25年5月1日現在）

（単位：人）

	教 員	保育士	非常勤教員	事務職員	計
東北生活文化大学 家政学部	* ¹ 37		48	8	93
東北生活文化大学短期大学部 生活文化学科	* ² 19		21	5	45
東北生活文化大学高等学校	68		44	5	117
ますみ幼稚園	10		0	1	11
ますみ保育園		* ³ 14	4		18
法人事務局				12	12
計	134	14	117	31	296

*¹：副手7を含む。 *²：副手5を含む。 *³：園長1，栄養士1を含む。

8. 管理運営の概要

(1) ガバナンス

本学園においては、ガバナンスの中心である理事会が、あらゆる事案の最高決定機関として機能する一方、理事会に対して助言やチェックする存在として監事及び評議員会もバランスよく機能している。なお、本学園では伝統的に理事が評議員を兼ねてきたが、理事兼任の評議員数が評議員総数の過半数とならないことを寄附行為に定め、厳守して今日に至っている。

一方、法人部門（理事会）と教学部門（教授会、職員会議）の関係は、本学園においては、理事 10 名中大学・短大関係者が 3 名（学長、前学部長及び教授兼常務理事）、高校関係者 2 名（校長、前校長）が理事となっており、両部門が意思疎通の面で渋滞することはなく、良好な協力体制が維持されている。

(2) 自己点検・評価

2.1 公益財団法人日本高等教育評価機構による大学の認証評価

東北生活文化大学は、平成 25 年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による 2 回目の大学機関別認証評価を受け、平成 26 年 3 月 11 日付で、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。認定期間は、平成 25 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までの 7 年間である。

2.2 一般財団法人短期大学基準協会による短大の認証評価

東北生活文化大学短期大学部は、一般財団法人短期大学基準協会による第 2 回目の第三者評価を、2 年後の平成 27 年度に受けることにしており、評価室を中心に準備を進めているところである。

2.3 自己点検・評価報告書

次の自己評価報告書をホームページ上に公開している。

東北生活文化大学「自己評価報告書」第 4 号、平成 25(2013)年 7 月発行

東北生活文化大学短期大学部「自己評価報告書」第 5 号、平成 25(2013)年 10 月発行

(3) 情報公開

改正私立学校法により公開を義務づけられた財務情報等の開示請求に対応するため、年度毎に事業報告書を作成し、その中に財産目録・貸借対照表・資金収支計算書・消費収支計算書及び監査報告書を掲載して法人事務局内に常備し、利害関係者の閲覧請求に備えるほか、最近ではデータを学園ホームページに一般公開している。

9. 危機管理体制策

宮城県では大規模な地震が必ず起こると予想されていたため、本学園においても一般的な危機管理対策は採られていたものの、この度の東日本大震災は、多くの点で学園の危機管理体制に反省材料を投げかける結果となり、結果的に十分とは言えない対策であったと言わざるを得ない。

このような実情に対処するため、平成 23 年度に、大学・短大においては、大学・短大総務室に安全管理委員会を新設し、定期的に会合を開き、危機管理マニュアルの作成や緊急時に備えた防災カードの発行、校舎内外の避難経路の見直し、避難訓練の実施等について審議しており、学生や教職員への周知を図っている。平成 25 年度は、虹の丘キャンパスとして大学・短大は 4 月 25 日に避難訓練を実施し、高校は 4 月 24 日防災訓練を行った。また、向山キャ

ンパスにあるますみ幼稚園とますみ保育園については、毎月 1 回防災訓練を行うことにしている。

このように、防災に対する危機管理体制が進む中で、虹の丘キャンパスに隣接する虹の丘団地及び双葉ヶ丘団地の町内会と本学園との間で「災害発生時に関する協定書」を締結した。これにより、本学園は地区避難施設としての役割を担うことになり、そのための運営マニュアルを作成した。

図1-1 虹の丘キャンパス（東北生活文化大学，同短期大学部，同高等学校）
及び向山キャンパス（ますみ幼稚園，同保育園）へのアクセスマップ

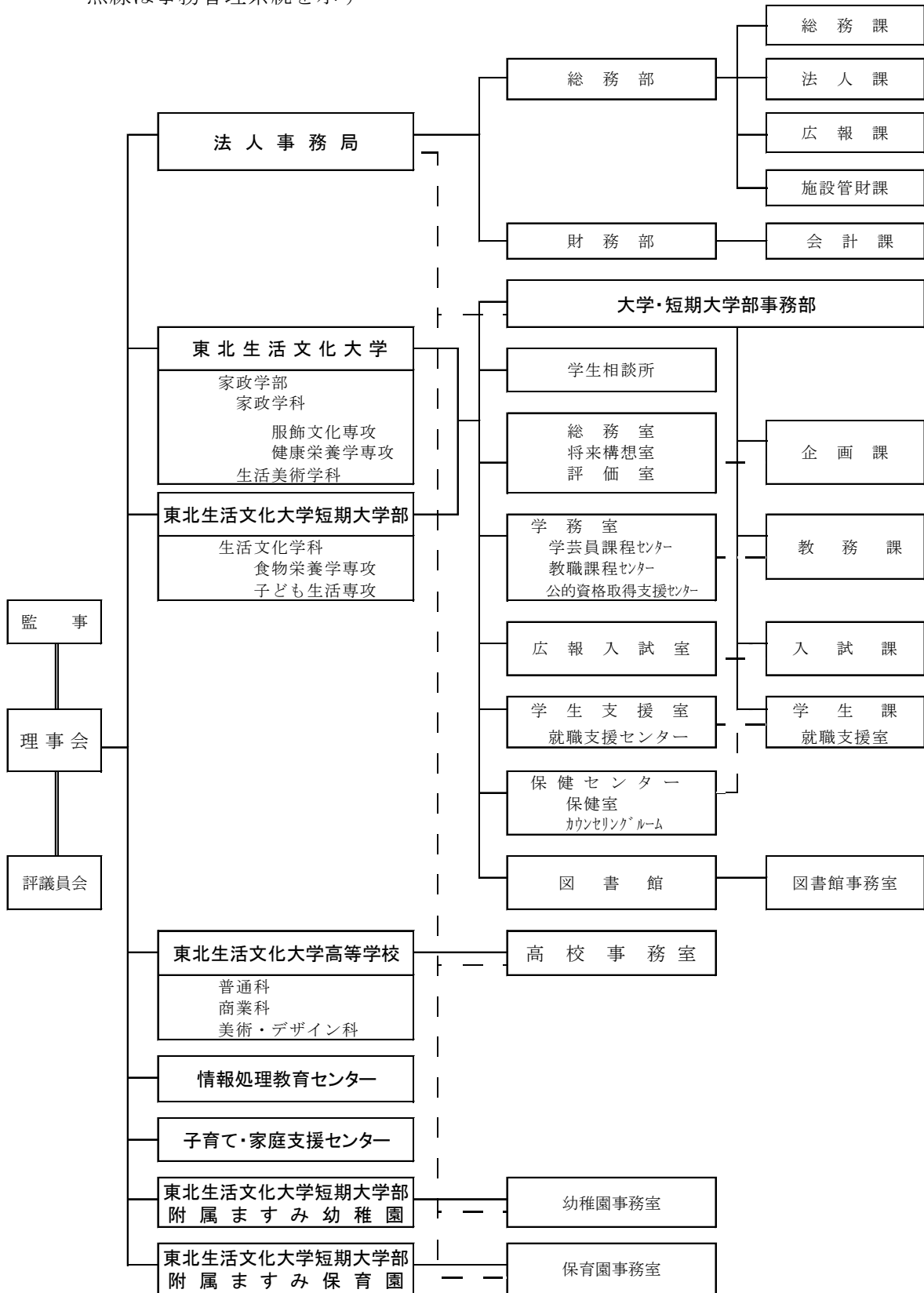


虹の丘キャンパス : 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2
向山キャンパス : 仙台市太白区向山四丁目 26 番 34 号

図 1 - 2 組織機構図

(平成25年5月1日現在)

実線は指揮命令系統を示す
点線は事務管理系統を示す



Ⅱ. 設置している大学、短大及び高校等に関する基本情報

本学園においては、私立大学等経常費補助金の算定基礎となる「教育研究上の基礎的な情報」、「修学上の情報」及び「財務情報」について、本学園のホームページに全てを掲載しており、学園の活動状況が多面的に把握しうるよう留意している。

本章においては、平成25年度に本学園のホームページに掲載した中から主な基本情報の一部を抜粋して記述する。

1. 学園全体に関する基本情報

(1) 土地・建物の概要

虹の丘キャンパスにおける土地及び各学校の建物の延べ床面積は表2-1に示すとおりである。敷地内に駐車場があり、登録した学生には自家用車による通学を認めている。

表2-1 虹の丘キャンパス土地・建物の概要（大学・短大・高校関係）

名 称	面 積
○土地〔虹の丘キャンパス：仙台市泉区虹の丘1丁目18-2〕	108,868m ²
○建物等	
【百周年記念棟（事務局・記念ホール等）】	計 2,236m ²
【80周年記念棟】（音楽室・レッスン室・練習室・プレイルーム）	計 582m ²
【東北生活文化大学】	計 10,094m ²
・1号館 1,559m ² ，2号館 1,576m ² ，3号館 1,620m ² ，4号館（給食経営管理実習棟・学生食堂）334m ² ，5号館 1,006m ² ，実験棟 1,057m ² ，新体育館 1,455m ² ，図書館 645m ² ，窯業場 70m ² ，造形工房 306m ² ，アトリエC 246m ² ，壁画工房 65m ² ，クラブハウス 155m ²	
【東北生活文化大学短期大学部】	計 4,720m ²
・短大棟 3,157m ² ，陶芸室 59m ² ，短大新体育館 1504m ²	
【東北生活文化大学高等学校】	計 13,434m ²
・校舎A棟（普通教室，職員室，図書室，実験室，コンピュータ室）4,464m ² ，校舎B棟（普通教室・特別教室）3,041m ² ，校舎C棟（普通教室，食堂等）1,062m ² ，多目的デザインホール586m ² ，体育館 2,279m ² ，クラブハウス 304m ² ，工芸・陶芸教室 356m ² ，生活教育特別実習教室 299m ² ，アトリエ室 176m ² ，その他 867m ²	
プール（25m×15m，375m ² ），テニスコート2面，グラウンド19,800m ²	
【同窓会館】 299m ² ，【顕彰館】 159m ² ，【大学生協用売店】 80m ²	

一方、向山キャンパスにおいては、5,145 m²の敷地に、幼稚園舎（534 m²）と保育園舎（409 m²）が建ち、園庭の面積は1,016 m²である。幼稚園には四つの保育室と遊戯室（ホール）があり、保育園には5つの保育室と給食室がある。敷地内に駐車場を設け、事前に申し込むことにより、保育園に子どもを預け、車を置いて最寄りのバス停、地下鉄を利用して職場へ行くことができるパーク&ライドサービスを行っており、有効に活用されている。

(2) 法人が擁する学校等の収容定員と在籍数

本学園は、現在東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、及びますみ幼稚園の四つの教育機関とますみ保育園を擁し、その収容定員と在籍数は、表2-2に示すとおりである。

表 2-2 学校等の収容定員及び在籍数 (平成 25 年 5 月 1 日現在 単位：人)

学校名	学部・学科・専攻等		収容定員	在籍数
東北生活文化大学	家政学部	家政学科	120	73
		服飾文化専攻	160	170
		健康栄養学専攻	160	156
	大 学 合 計		440	399
東北生活文化大学 短期大学部	生活文化学科	生活学専攻(2年生)	40	6
		食物栄養学専攻(1年生)	40	42
		子ども生活専攻	120	128
	短 大 合 計		200	176
東北生活文化大学 高等学校	普 通 科		880	910
	商 業 科		240	160
	美術・デザイン科(1年生)		50	65
	高 校 合 計		1170	1135
ますみ幼稚園			105	104
小 計			1915	1814
ますみ保育園			60	70
総 計			1975	1884

2. 東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部に関する基本情報

(1) 専任教員数 (学長を含まない。)

専任教員数は表 2-3 及び表 2-4 のとおりで、いずれも法令上必要な数を充足している。

表 2-3 大学の専任教員数 (平成 25 年 5 月 1 日 現在)

学 科		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
家政学科	男	7	1	1	0	0	9
	女	2	0	7	1	3	13
生活美術学科	男	5	0	0	0	0	5
	女	0	0	1	2	0	3
合 計	男	12	1	1	0	0	14
	女	2	0	8	3	3	16

表 2-4 短期大学部の専任教員数 (平成 25 年 5 月 1 日 現在)

学 科		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
生活文化学科	男	5	3	1	0	0	9
	女	0	2	4	0	3	9
計		5	3	6	0	0	18

(2) 入学者推移・収容定員・在学生数

入学者の推移は表 2-5 及び表 2-6 のとおりである。

表 2-5 大学の平成 25 年度～22 年度の入学者推移(人)

学 科	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
家政学科	57	55	62	69
生活美術学科	34	49	44	34
計	91	104	106	103

表 2-6 短期大学部の平成 25 年度～22 年度の入学者推移(人)

専 攻	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
生活学専攻		6	16	19
食物栄養学専攻	42			
子ども生活専攻	65	66	66	66
計	107	72	82	85

収容定員及び学年毎の在学生数は表 2-7 及び表 2-8 のとおりである。

表 2-7 大学の収容定員と平成 25 年 5 月 1 日現在の在学生数, ()内は社会人で内数

学 科	収容定員	在 学 生 数						収容定員充足率 (%)
		性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計	
家政学科	280	男	6	12	6	9	33	86.8
		女	51	46	55	58	210	
生活美術学 学科	160	男	6	9	11	7	33	97.5
		女	28	44	26(1)	25	123(1)	
計	440		91	111	98(1)	99	399(1)	90.7

表 2-8 短期大学部の収容定員と平成 25 年 5 月 1 日現在の在学生数

学 科	収容定員	在 学 生 数				収容定員充足率 (%)
		性別	1 年次	2 年次	計	
生活学専攻	40	男				15.0
		女		6	6	
食物栄養学専攻	40	男	7		7	105.0
		女	35		35	
子ども生活専攻	120	男	6	3	9	106.7
		女	60	59	119	
計	200		108	68	176	88.0

(3) 卒業生数, 進学者数, 就職者数

平成 23 年度から 25 年度にかけて, 卒業した者の内, 進学した者と就職した者の推移を表 2-9 及び表 2-10 に示した。

表 2-9 平成 25～23 年度の大学卒業生の進路状況(人)

学科	性別	平成25年度*			平成24年度			平成23年度		
		卒業生	進学者	就職者	卒業生	進学者	就職者	卒業生	進学者	就職者
家政学科	男	9	1	8	4	0	4	6	0	3
	女	55	1	46	42	0	37	47	0	30

生活美術学科	男	7	0	4	9	0	5	3	0	3
	女	24	0	11	29	4	14	26	5	9
計		95	2	69	84	4	60	82	5	45

*平成25年5月1日現在の値

表2-10 平成25～23年度の短大卒業生の進路状況(人)

学科名	性別	平成25年度*			平成24年度			平成23年度		
		卒業生	進学者	就職者	卒業生	進学者	就職者	卒業生	進学者	就職者
生活文化学科	男	3	1	2	6	0	6	7	0	7
	女	64	2	55	72	0	67	74	4	64
計		67	3	57	78	0	73	81	4	71

*平成25年5月1日現在の値

(4) 就職希望者の内定状況

平成26年3月末現在の大学・短大卒業生の進路状況は表2-11及び表2-12に示すとおりである。

表2-11 大学卒業生の就職希望者の内定状況(人) ()内は男子学生

学科・専攻	卒業 者数	就職 希望者	就 職					進学	家 事 手伝等
			内定者	未定者	本年度内定率 (%)	前年度内定率 (%)	対前年 比		
服飾文化専攻	23(4)	18(4)	14(3)	4(1)	77.8(75.0)	90.0 —	▲12.2	1	4(0)
健康栄養学専攻	41(5)	41(5)	37(5)	4(0)	90.2(100.0)	81.8(75.0)	8.4	0	0(0)
生活美術学科	31(7)	25(7)	13(4)	12(3)	52.0(57.1)	75.0(62.5)	▲23.0	0	7(0)
合 計	95(16)	84(16)	64(12)	20(4)	76.2(75.0)	80.6(66.7)	▲ 4.4	1	11(0)

表2-12 短大卒業生の就職希望者の内定状況(人) ()内は男子学生

専攻	卒業 者数	就職 希望者	就 職					進学	家 事 手伝等
			内定者	未定者	本年度内定率 (%)	前年度内定率 (%)	対前年 比		
生活学専攻	6(0)	6(0)	4(0)	2(0)	66.7 —	50.0 —	16.7	0	0(0)
子ども生活専攻	61(3)	52(2)	52(2)	0(0)	100.0(100)	96.8(33.3)	3.2	3	6(0)
合 計	67(3)	58(2)	56(2)	2(0)	96.6(100)	89.3(33.3)	7.3	3	6(0)

3. 東北生活文化大学高等学校に関する基本情報

(1) 高校教員に関する基本情報

平成25年5月1日現在の高校教職員数は表2-13のとおりである。

表2-13 平成25年5月1日現在の教職員数(人)

性別	校長	教頭	教諭	常勤講師	養護教諭	事務職員	現業職員	計
男	1	3	27	12	0	6	1	50
女	0	0	16	6	2	5	0	29
合計	1	3	43	18	2	11	1	79

(2) 高校生徒に関する基本情報

2.1 収容定員

本高校の入学定員は、普通科 260 名、商業科 80 名、美術・デザイン科 50 名の計 390 名であり、収容定員は普通科 780 名、商業科 240 名、美術・デザイン科 150 名の計 1,170 名である。

2.2 在籍生徒数

平成 25 年 5 月 1 日現在の高校の在籍生徒数は表 2-14-1 及び表 2-14-2 に示すとおりである。

表 2-14-1 平成 25 年 5 月 1 日現在の高校の学科別在籍生徒数(人)

学年	普通科				商業科				美術・デザイン科				収容定員
	級数	男子	女子	計	級数	男子	女子	計	級数	男子	女子	計	
1 学年	7	105	125	230	2	38	13	51	2	12	53	65	390
2 学年	12	159	203	362	2	38	12	50	0	0	0	0	390
3 学年	11	141	177	318	2	40	19	59	0	0	0	0	390
合計	30	405	505	910	6	116	44	160	2	12	53	65	1,170

表 2-14-2 平成 25 年 5 月 1 日現在の高校の在籍生徒数(人)

学年	級数	男子	女子	計
1 学年	11	155	191	346
2 学年	14	197	215	412
3 学年	13	181	196	377
合計	38	533	602	1,135

2.3 入学志願者数と入学者数及び卒業生数

平成 25 年度の入学志願者数と入学者数及び卒業生数は表 2-15 のとおりであった。

表 2-15 平成 25 年度高校の志願者、入学者、卒業生数(人)

項目	高 校			
	普通科	商業科	美術・デザイン科	合計
入学志願者数	781	172	118	1,071
入学者数 (平25.4入学式時点)	230	51	65	346
卒業生数 (平26.3卒業式時点)	316	58		374

2.4 卒業後の進路

平成 26 年 3 月末現在の高校卒業生の進路状況はそれぞれ表 2-16 に示すとおりである。

表 2-16 高校卒業生の進路状況 (卒業生総数 374 名)

項目	進 学				就 職 計	家 事 その他
	大学	短大	専修等	計		
希望者	91	26	122	239	116	28*
実績	82	26	122	230	116	28
決定率(%)	90.1	100	100	96.2	100	—

* : 既卒者 9 名を含む。

4. ますみ幼稚園・ますみ保育園に関する基本情報

両園とも地域の要請に応える幼児教育機関または幼児保育機関としてのみならず、保育士養成施設である東北生活文化大学短期大学部子ども生活専攻の実習機関としての機能も果たしており、学園にとって貴重な存在である。

(1) 所在地及び面積

ますみ幼稚園・ますみ保育園は、仙台市太白区向山四丁目 26 番 34 号の向山キャンパスに開園しており、土地面積は 5,145 m²、建物の面積は幼稚園が 534 m²、保育園が 409 m²である。第 1 章の図 1-1 にアクセスマップを掲げている。

(2) 開園日及び掲げる目的

開園は、幼稚園が昭和 30(1955)年 5 月 30 日、保育園が平成 16(2004)年 4 月 1 日である。それぞれの園則第 1 条は、目的を次のように掲げている。

【幼稚園】 この幼稚園は、学校教育法第22条に従って幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。また、保育に欠ける児童の保育を目的として児童福祉法第39条による保育所である「ますみ保育園」を併設し、その園則は別に定める。

【保育園】 この保育園は、保育に欠ける児童の保育のため、児童福祉法第1条による理念に基づき、児童を心身ともに健やかに育成させることを目的とする。

(3) 収容定員

現在の収容定員は幼稚園が 105 名、保育園が 60 名であり、平成 25 年 5 月 1 日現在の在籍者は、それぞれ 87 名、69 名で、内訳を表 2-17 及び 2-18 に示した。

表 2-17 幼稚園在籍者数

種別	人数
年長	33
年中	21
年少	20
計	24

表 2-18 保育園在籍者数

種別	人数
0歳児	5
1～2歳児	23
3歳児	12
4, 5歳児	28
計	68

(4) 教職員数

教職員数は次のとおりで、以下特記した以外は全て女性である。

幼稚園：園長 1 (男)，教諭 9，現業員 1 (男) 計 11 名

保育園：園長 1，保育士 16 (専任 4，嘱託 8，非常勤 4)，栄養士 1 計 18 名
(他 技師 1 名)

Ⅲ. 平成 25 年度の事業の概要

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災から 2 年が経過し、年間を通じて、震災前の状況と同様に全ての学事日程を計画通り執行することができ、学園としての使命を果たすことができた。しかし、主要な復旧工事は概ね終了したものの、平成 25 年度は、なお震災の後始末が続く、短大棟屋上の防水加工工事など未だ震災の影響によると思われる施設の修理や改修工事を継続して行うことになった。

その他、老朽化に伴う施設・設備の更新や学生・生徒の教育環境整備・充実が主な工事となった。

1. 学園全体に関わる事業

(1) 建物・設備工事の概要

平成 25 年度に行った主な建物・設備工事の概要を表 3-1 に示した。

表 3-1 主な建物・設備工事の概要 (単位：千円)

部門	施設・設備	内 容	所要金額
法人	ボイラー地上タンク設置工事	新 設	3,337
	ボイラー関連設備修理工事	修 理	630
	グラウンド排水工事	修 理	290
	小 計		4,257
大学	エアコン設置工事	新 設	714
	庇補強工事	修 理	483
	マット設置工事	新 設	460
短大	屋上の防水加工工事	修 理	10,000
	小 計		11,657
高校	グラウンド整備	造 成	27,000
	エアコン設置工事	新 設	1,680
	小 計		43,680
幼稚園	トイレ・シャワー増設工事	増 設	3,570
合 計			63,164

(2) 平成 25 年度東日本大震災の被災者支援対策の概要

平成 24 年度に引続き、東日本大震災で被災した学生・生徒・園児に対する支援措置を実施した。その概要と実績を表 3-2 に示した。表に示した 29 名中、区分 1～3 に該当して支援を受けた者は大学生 20 名、短大生 8 名であった。この人数は平成 25 年 5 月 1 日現在の大学、短大在籍者数 575 名の 4.9% に相当し、区分 1～3 の支援に要した金額は、大学：6,610 千円、短大：2,360 千円、合計：8,970 千円となった。

なお、学園負担の高校の被災者支援については、平成 25 年度からは入学検定料の免除のみとなっており、167 名に対して支援を行い、これは平成 26 年度入学者 374 名の 44.1% に当たり、その支援に要した金額は、2,171 千円であった。

このほか、被災した幼稚園児 4 名に対し支援奨学金一人当たり 28 千円、合計 112 千円を給付した。学園全体としては、199 名の学生・生徒・園児に総額 11,253 千円を支援したことになる。これに対する公的助成金は大学・短大分の約 3 分の 2 で、総額の 53% であった。

表3-2 大学・短大の被災学生に対する支援区分と支援人数実績 (単位：人)

区分	被災状況	支援措置	大 学		短 大		合計
			新入生	在校生	新入生	在校生	
1	学費負担者死亡	授業料全額免除	0	4	0	0	4
2	自宅が全壊・流失	授業料半額免除	2	12	4	4	22
3	原発により居住困難	後期授業料半額免除	1	1	0	0	2
4	その他学業継続困難	その他（延納等）	0	1	0	0	1
計			3	18	4	4	29

※1：授業料には、施設設備資金，教育充実費を含まない。

※2：新入生は入学金の半額が免除された。

(3) 新奨学金制度の設立

三島学園同窓会の関連団体である財団法人奨学香風会は、教育の振興及び奨励を図るため学資の支給その他必要な助成を行い、有用な人材の育成に寄与することを目的に、昭和54年2月に設立された公益法人であるが、平成21年3月の法人制度改革が契機となり、平成24年度から新しく本学園独自の三島学園香風会奨学金制度を設立した。これに伴い、平成25年度は15名の学生、生徒（大学・短大生9名，高校生6名）を対象に交付式を行い、奨学金を支給した。

(4) 学校法人の刊行物

本学園では、学園内のそれぞれの教育機関，保育園で独自の要覧を作成していることから、学園全体の要覧は、内容を簡略化するなど編集スタイルを改めて学内向けに発行している。

- ・三島学園要覧〔平成25度版〕，三島学園広報室 平成25度7月発行

2. 東北生活文化大学・同短期大学部の事業

(1) 管理栄養士国家試験合格者

第28回管理栄養士国家試験は、平成26年3月23日、東北では仙台のサンフェスタ会場で行われ、本大学家政学部健康栄養学専攻を修了した平成25年度の卒業生33名が受験し、27名が合格した（合格率＝27/33名（81.8%））。年々合格率は上昇する傾向にあり、平成25年度はこれまでで最高の合格率となったが、新卒の全国平均合格率には及ばなかったことから、合格率向上を目指して、今後さらに改善を図る必要がある。また、本学既卒者については、25名が受験し2名が合格した（合格率＝2/25名（8.0%））。

(2) 文化事業

大学・短大が主催または共催して実施した公開講座・制作展等の主な文化事業は表3-3-1に示すとおりである。

表3-3-1 研究会・公開講座・制作展等

主催	開催日時	講座・制作展等名称（会場）	講師または担当者
大学	平25.8.1～8.4	2013 夏季 高校生のためのデッサンセミナー（於：生活美術学科教室）	大学生生活美術学科教員及び高校生
短大	平25.8.31, 9.1, 9.7	平成25年度宮城県民大学「大学開放講座」～食中毒とその予防法～	短大教員（齋藤紀行他3名）

大学	平25.10.1～10.4 平25.11.2～11.3	第1回 TSBアートコンペティション 作品審査・展示会（於：せんだいメディア テーク，特別審査員 木下晋氏）	大学生生活美術学科 教員
大学 短大	平25.10.19～10.20	大学祭 2013 「～つながり～」 （於：虹の丘キャンパスにて10月20日は オープンキャンパスと同時開催）	大学・短大学生
大学	平25.11.9, 11.30	東北生活文化大学・東北生活文化大学短期 大学部公開講座（於：大学各教室）	大学教員（北折整 他6名）
大学	平25.11.13～11.20	東北生活文化大学服飾文化専攻テキスタイル デザイン展示会～常盤紺型と仙台浴衣文 様を活用したデジタルテキスタイルデザイ ン～（於：大学・短大図書館）	大学家政学科服飾文 化専攻教員 川又勝 子及び学生
大学	平25.11.29～12.1	Mishima & Co. 東北生活文化大学展示会 in 仙台「伝統と未来を紡ぐ絹」（於：仙台 メリラボ）	大学家政学科服飾文 化専攻 教員及び学 生
大学	平25.12.14	平成25年度家政学科課題研究発表会 （於：百周年記念ホール）	大学家政学科教員及 び学生
短大	平25.12.20～12.22	短大生活学専攻課題研究・作品展示会 （於：東京エレクトロンホール宮城）	短大教員・学生
大学	平26.1.22	平成25年度家政学科服飾文化専攻課題研 究 I 発表会（於：大学5号館実1 講義室）	大学家政学科教員及 び学生
大学 短大	平26.1.24	大学・短大成人祝賀記念演奏会 「二胡とシンセサイザーの調べ」 （於：学園百周年記念棟ホール）	宇都宮理人 相田雅美
大学	平26.2.28～3.5	生活美術学科第46回卒業制作展 （於：せんだいメディアテーク）	大学生生活美術学科 学生
大学	平26.2.28	ファッションショー「ホンモノ」 （於：エルパーク仙台ギャラリーホール）	大学家政学科教員及 び大学・短大学生
大学 高校	平26.2.26～3.12	美術作品展覧会「生文生だよ！全員集合」	大学・高校教員及び 学生・生徒
大学	平26.3.8	ファッションカレッジ～一日で出来る簡 単らくらく服作り～（於：大学1号館実習 室）	大学家政学科服飾文 化専攻教職員及び高 校生
大学	平26.3.15	大学家政学科課題研究展（於：大学5号館 DE 講義室）	大学家政学科教職員 及び学生
大学	平26.3.25～3.26	2013 春期 高校生のためのデッサンセミ ナー（於：生活美術学科教室）	大学生生活美術学科教 員及び高校生

上表以外にも、平成25年度中に本学以外の他の団体が企画し主催した行事に共催又は参加した主な文化事業について表3-3-2に示した。

また、平成24年度から、本学の学生が学んだ知識を生かして地域の人の暮らしをワクワク

させるプロジェクトを地域に送り出す活動として「ワクワク 100 ふろじえくと」を展開しており、この内容については下記の web サイトに掲載している。

- ・ワクワク 100 ふろじえくと web <http://www.mishima.ac.jp/info/wakuwaku/>
- ・本学 facebook <https://www.facebook.com/mishima.tsb>

表 3-3-2 平成 24 年度公開講座

主催	開催日時	講座・制作展等名称（会場）	担当
日本伝統食品研究会	平25.11.9	みやぎの食◆伝統と継承◆（於：東北生活文化大学百周年記念ホール）	大学 佐藤靖子教授
仙台市泉区文化協会	平25.11.2 ～11.3	仙台市泉区民文化祭（ガラスアート，段ボールアート，バンド演奏参加）	大学・短大 学生
デザインウィーク in せんだい実行委員会	平 25.12.6 ～12.11	デザインウィーク in せんだい2013（ファッションショー by 東北生活文化大学参加）	大学・短大 学生

（3）主な定期刊行物

- ・平成 24 年度活動報告 平成 25 年度活動計画，平成 25 年 5 月発行，東北生活文化大学・同大学短期大学部企画課
- ・平成 23 年度 FD 活動報告書，平成 25 年 5 月発行，東北生活文化大学・同短期大学部 FD 委員会
- ・東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部 大学案内 2014，平成 25 年 5 月発行，東北生活文化大学・同大学短期大学部入試課
- ・東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部 要覧 [平成 25 年度版]，平成 25 年 6 月発行，東北生活文化大学・同大学短期大学部企画課
- ・東北生活文化大学自己評価報告書(第 4 号)，平成 25 年 7 月発行，東北生活文化大学自己点検・評価委員会
- ・広報 TSB(3 号)，平成 25 年 8 月発行，広報 TSB(4 号)，平成 26 年 3 月発行，東北生活文化大学・同大学短期大学部学生課
- ・東北生活文化大学短期大学部自己評価報告書(第 5 号)，平成 25 年 10 月発行，東北生活文化大学短期大学部自己点検・評価委員会
- ・学友会誌(平成 25 年度)，平成 26 年 3 月発行，東北生活文化大学・同短期大学部学友会総務部委員会
- ・東北生活文化大学 東北生活文化大学短期大学部 紀要 No.44，平成 26 年 3 月発行，東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館

3. 東北生活文化大学高等学校の事業

（1）平成 25 年度に高校が主催・共催した行事

平成 25 年度に高校が主催・共催した主な行事は表 3-4 に示すとおりである。

表 3-4 高校が企画して実施した講演会，交流会，制作展等

開催日時	講座・制作展等名称（会場）	講師または担当者
平25.6.29～8.2 (受付期間) 平25.10(結果発表web掲載)	中学生イラストコンクール 3 Web 版 season 3 受賞者決定（応募テーマ『色・カラー』）	高校教員及び審査員として日本デザイナー芸術学院仙台校の先生

平25.7.4	アメリカ人学生との交流会(アメリカ人高校生・大学生15名)	高校教職員及び生徒
平25.9.6～9.7	生文祭'13 「セイブン イレブン イイキブン」 (於：虹の丘高校キャンパス)	高校教職員及び生徒
平25.10.5	パソコンスピード王は君だ！(第7回)	高校教員
平25.10.5	SEIBUNアートグランプリ2013 表彰式 (於：三島学園百周年記念棟ホール)	審査員として早坂貞彦氏 及び樋口佳絵氏
平25.10.22	平和を想う日「柿 ～Peace～」	LHR
平25.11.30	第2回創作絵本・紙芝居・デジタル絵本コンテスト	高校教員 及び大学・短大教員
平25.12.17 ～12.22	第11回美術コース卒業制作展 テーマ「吐き出せ，感性」 (於：宮城県美術館県民ギャラリー)	高校美術・デザイン科教 員及び生徒

(2) 平成25年度の高校部活動の状況

平成25年度に特筆すべき活躍をした部活動の記録は表3-5に示すとおりである。

表3-5 平成25年度中の高校部活動の記録

開催日時	大会名称
平25.6.1～6.3	第62回宮城県高等学校総合体育大会ソフトボール競技 女子第1位，男子第3位 同 全国高校ライフル射撃選手権大会予選会 阿久津蓮 BP40JW 個人第1位(大会新)，学校対抗戦 男子第3位 同 バレーボール競技，女子 第3位 同 バスケットボール競技，男子 第3位
平25.6.15	第51回宮城県高等学校ワープロ競技大会，団体3位(パソコン)
平25.6.20～6.23	第68回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会，男子ベスト8
平25.7.6～7.7	平成25年度東北高等学校少林寺拳法選手権大会 女子団体演武の部第3位
平25.7.31～8.3	平成25年度全国高等学校総合体育大会・第65回全日本高等学校女子ソフトボール選手権大会，ベスト16
平25.8.3～8.4	第22回全国高等学校漫画選手権大会 まんが甲子園出場(マンガ・イラスト部)
平25.8.6～8.8	仙台七夕参加，「銅賞」「努力賞」(JRC)
平25.8.4	県商業高校サッカー交流大会，優勝
平25.10.20	第51回宮城県高等学校演劇コンクール泉・宮城野地区大会 「脱！LOST DOG'S LIFE～なめこ様争奪選手権[嘘]～」優良賞
平25.10.20	第61回宮城県高等学校新人ソフトボール大会，女子優勝
平25.10.20	第34回仙台市武道まつり少林寺拳法 中学・高校女子級の部 第1位 最優秀， 高校男子級の部 第3位 優良
平25.11.2～11.4	第57回宮城県高等学校新人剣道大会，男子個人第2位
平25.11.8	平成25年度宮城県高体連剣道専門部優秀選手賞 千田瑛理香

この中でも、女子ソフトボールのインターハイ出場は昨年に引続き連続2回目の快挙であり、また平成25年度から新しく美術・デザイン科を設置したことにより、制作展等美術関連の催しが多く開催された。

(3) 定期刊行物等

- ・ますみ 六十六号 東北生活文化大学高等学校生徒会誌，平成26年3月発行
- ・高校学校案内 平成25年度版，平成25年6月発行
- ・学校要覧 平成25年度版，平成25年6月発行
- ・生文高 48colors～生文高の運動部と文化部の48の色，平成25年9月発行
- ・平成25年度東北生活文化大学高等学校父母教師会会報 平成25年10月，平成26年3月発行
- ・活躍の記録 Vol. 7，平成25年9月発行

4. ますみ幼稚園・ますみ保育園の事業

ますみ幼稚園・ますみ保育園については、学園内の短大生活文化学科子ども生活専攻と連携をより緊密にして幼児教育や保育の質向上を目的に、平成25年度よりそれぞれ名称を東北生活文化大学短期大学部ますみ幼稚園及び東北生活文化大学短期大学部ますみ保育園に改称した。

(1) ますみ幼稚園

開園以来「幼児を保育し、適当なる環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。」を園則に謳い、具体的には①喜んで活動する子、②あいさつの出来る子、③思いやりに深い子、④明るく元気な子、の四つの教育目標を掲げて実践に努めている。

平成25年度は、年長組33名（さくら組）、年中組41名（すみれ組21名＋ばら組20名）、年少組24名（ちゅうりっぷ組）の合計98名でスタートし、教員一丸となって目標達成に取り組んだ。

平成24年度に続き、東日本大震災において半壊以上の被害を受けた被災家庭の園児4名に、入園料プラス施設資金に相当する額の支援金を送った。

(2) ますみ保育園

ますみ保育園は、「児童福祉法第1条による理念に基づき、児童を心身ともに健やかに育成させることを目的とする。」を園則に謳い、生後3ヶ月の乳児から小学校就学の始期に達するまでの幼児を対象に保育に取り組んでいる。

平成25年度は、3歳児未満28名、3歳児12名、4歳児以上28名の合計68名でスタートし、職員のチームワークを重視して園児の育成に当たった。

平成23年3月11日の東日本大震災から約2年が経過し、日常の保育も例年通り順調に推移し、運営委員会メンバーからの評判も良く、地域社会に対し使命を果たすことが出来た。

5. 子育て・家庭支援センターの事業

平成18年の発足以来、地域連携活動の一環として定着しつつあり、幼稚園就園前の乳幼児を持つ母親に広く認知される存在になった。学園内各部門の代表者で構成される運営委員会で年間計画を作成し、昨年度まではますみ保育園の保育士をスタッフとして出張をお願いしていたが、平成25年度からは専任保育士のもとで活動している。

表3-6に、平成25年度に開催した公開講座の実施内容を示した。活動の中心は月2回テーマを決めて行われる「のびのびくらぶ」（定員15名）で、平成25年度に実施した講座名と

参加者数は表3-7の通りであった。

表3-6 公開講座

開催日時	講座名称（会場）	講師
平25.10.30	第17回講座「粘土でつくろう」 （於：80周年記念棟・校庭）	立花布美子（生活美術学科助手）

表3-7 「のびのびくらぶ」の実施講座と参加者数

日にち	講座名	人数	
		子ども	親
平 25.4.17	お花見とこいのぼりづくり	8	7
平 25.5.29	おはなし会	8	6
平 25.6.19	七夕かざりづくり	10	8
平 25.7.3	おはなし会	8	8
平 25.8.28	短大のお兄さんお姉さんと遊ぼう	12	9
平 25.9.11	おやつを作ろう	16	14
平 25.9.18	おはなし会	14	12
平 25.10.2	おはなし会	4	2
平 25.10.30	公開講座「粘土でつくろう」	15	14
平 25.11.13	親子遊び	6	4
平 25.12.11	クリスマス飾りをつくろう	15	12
平 26.2.19	お雛さま飾りをつくろう	5	4
平 26.3.7	短大のお兄さんお姉さんと遊ぼう	10	8
平 24.11.19	おはなし会	8	8
平 24.11.26	わらべうた	12	12
平 24.12.19		15	15
平 25.2.20	たのしいひなまつり	7	7
平 25.3.6	おたのしみ会	13	12
	小計	141	108
	合計	249	

また、週3回の開放日「親子でのびのび」（月・水・金）の年間利用者数は延べ、1,195名（子ども654名＋親541名）で、上表を合わせた延べ年間利用者数は1,444名（子ども795名＋親649名）に達し、昨年度の1,351名を上回った。

IV. 財務の概要

1. 平成25年度決算について

(1) はじめに

平成25年度は、平成24年度と同様に学校法人の経営基盤の確立を図り、教育環境の整備と教育研究等の活動に積極的に取り組むことを目標とした。

経営基盤の確立には、学生生徒の確保が最重要課題であるとし、平成24年度に設置した短期大学の食物栄養学専攻においては、入学定員を上回り、短期大学部全体でも定員を充足した。一方、同じく設置した高等学校の美術デザイン・学科も入学定員は確保したが、高校全体では定員の充足には至らなかった。

喫緊の課題としては、大学の定員を充足するための抜本的な改革が求められている。大学を取り巻く環境は、少子化の進行、学校間の競争の激化、経済環境の低迷化等、依然として厳しい状況が続いており、今後一層の対策が求められる。

(2) 決算概要

2.1 主な実施事業

- a 高校 AB 棟給排水設備工事 28,413 千円を実施した。
- b 東日本大震災及び福島原発事故による被災学生・生徒のための支援策を昨年引き続き実施した。
- c 大学1号館のトイレ改修工事 7,880 千円を実施した。
- d 高校弓道場の移設工事を実施した。一部 H26 に実施予定。
- e グラウンド整備 20,570 千円を実施した。
- f ますみ幼稚園トイレ改修工事を実施した。

2.2 資金収支計算書

① 収入の部

- a 学納金等納付金収入は、H24年度に比べ、学園全体で在籍数（5月1日現在比較）が91名減少し、37,088千円減となった。
- b 寄付金収入のうち、主なものは、一般寄付金教育研究資金 17,085 千円、特別寄付金は、教育振興会、同窓会等、高校父母教師会からのものである。
- c 補助金収入の国庫補助金は、大学、短大の私立大学等経常費補助金 174,721 千円である。地方公共団体補助金は、運営費補助金 395,242千円、保育園 13,466千円である。
- d 事業収入は幼稚園の補助活動収入と高校の H25度緊急スクールカウンセラー等派遣事業業務である。
- e 雑収入は退職金分の退職社団からの 60,673千円。その他の雑収入はスクールバス代他である。

② 支出の部

- a 人件費は、H24年度に比べ、10,922千円増加（退職金を除く）増となった。
- b 教育研究経費は、昨年、短大の食物栄養学専攻設置等により経費が増加したが、H25は全体で 46,575 千円減少した。H25 の教育研究経費のうち、光熱水費は電気料金の値上げ等によ

- り、5,445千円増加した。
- c 管理経費は、19,265千円減少した。
- d 施設関係支出は、給排水管工事、グラウンド整備、弓道場移転を含む。
- e 資産運用支出は、施設設備維持引当金1億円を計上した。

2.3消費収支計算書

消費収支計算書は、学校法人の命題である教育の永続性、継続性の判断指標で、言い換えれば学校法人が教育の永続性を実施するうえで、十分な経営状況にあるかどうかを見るためのものである。学校法人の経営判断指標として、消費収支計算書の帰属収支差額（帰属収入－消費支出）を重視している。

- ①帰属収入 帰属収入は消費収入のうち、基本金を組入れる前の収入である。各科目で資金収支計算書と重複しているものは資金収支計算書を参照。
 - a 寄付金のうち現物寄付は、高校文化体育後援会照明機1,050千円、高校の卒業記念品935千円他である。
 - b 帰属収入の合計は2,125,430千円で、前年比1,236千円減となった。
 - c 基本金組入額の内訳は建物関係42,845千円構築物23,898千円等である。
- ②消費支出
 - a 人件費のうち、退職引当金100%として、大学部門に19,712千円を計上した。
 - b 教育研究費の内、減価償却は151,591千円である。
 - c 管理経費の内、減価償却は11,590千円である。

②帰属収支差額

帰属収入から消費支出を引いた帰属収支差額は115,081千円となり、H24年と比較し23,471千円減少となった。

2.4貸借対照表

①資産の部

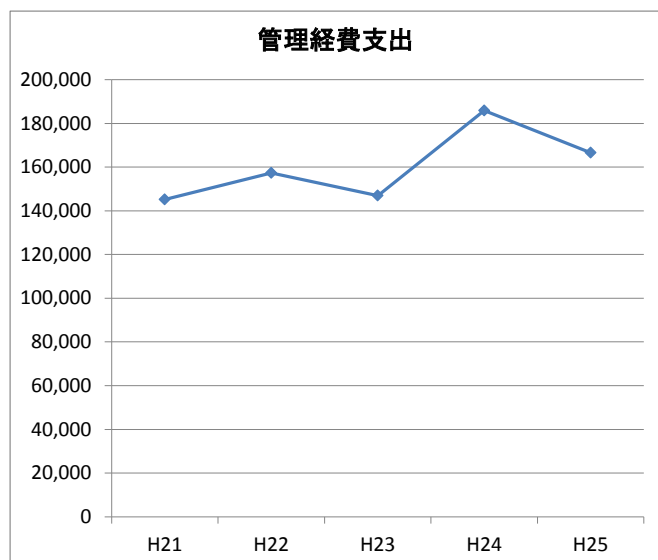
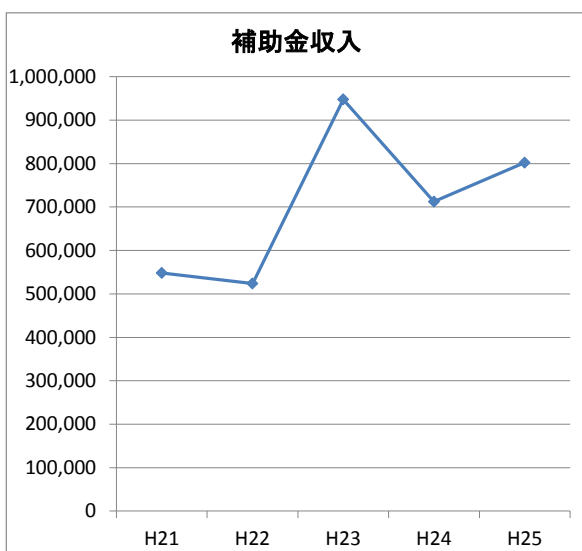
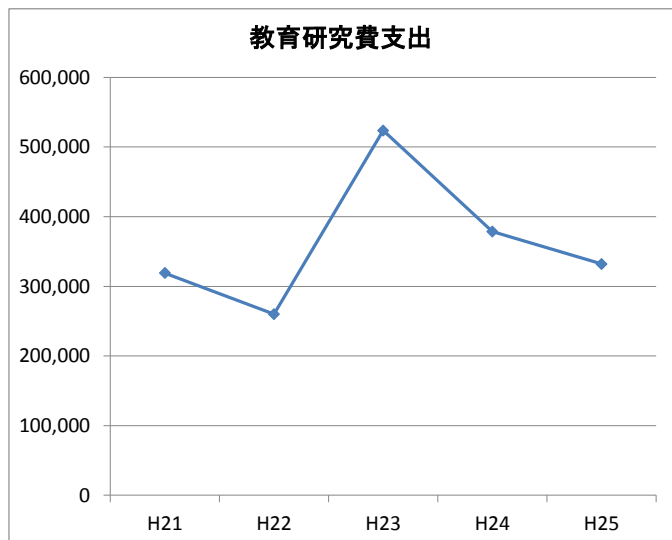
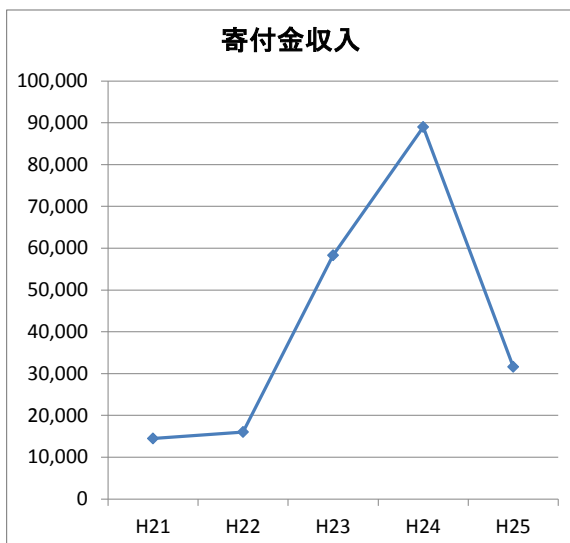
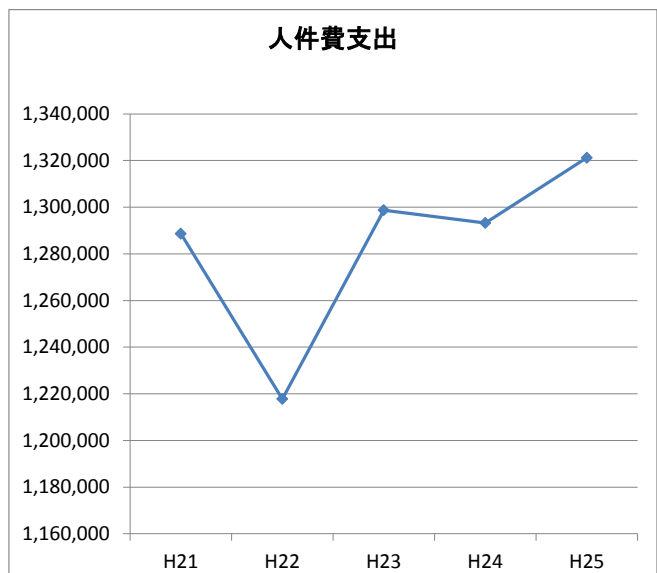
- a 有形固定資産は、建物で59,442千円減少した。
 - b 流動資産の現金預金は、904,386千円で前年度比96,149千円増加した。
- 資産の部全体で、固定資産は減少したが、流動資産で増加し、前年度に比べ微増となった。

②負債の部

- a 長期借入金は、借入金の返済により減少した。
- b 退職給与引当金は、100%引当金としている。
- c 長期未払金は高校空調設備、コンピュータのリースに伴う未払分による。
- d 流動負債の未払金は、退職金の未払分60,672千円を含む。
- e 前受金の減は前年度と比べ入学者が減少したことによる。
- f 負債の部全体で前年度に比べ107,710千円減少し、総負債比率（総負債/総資産）は19.82%で前年度2.29%減少した。

3.2 資金収支計算書の主な科目の推移

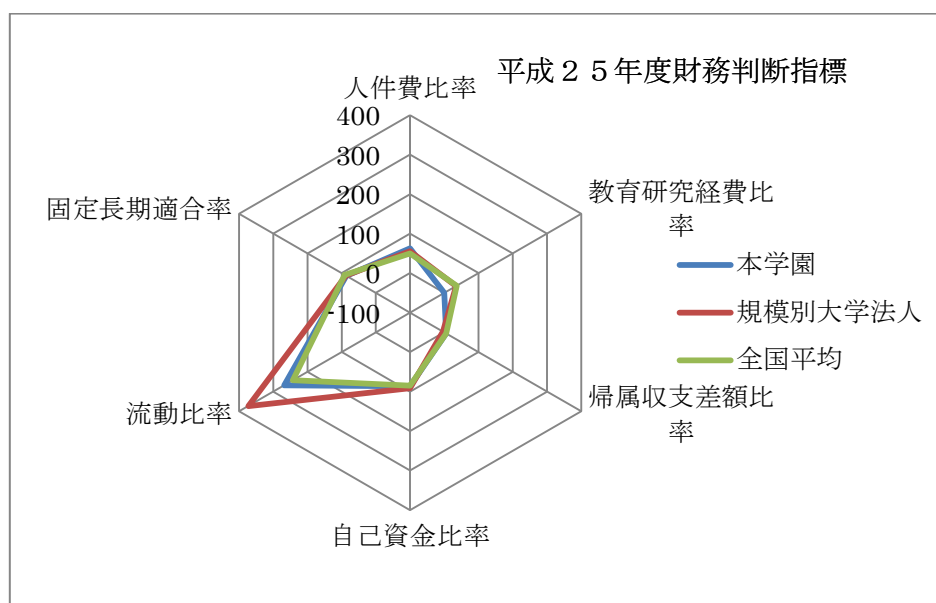
(単位:千円)



(3) 財務分析

3.1 経営分析指標

- ① 帰属収支差額比率 (帰属収入－消費支出) / 帰属収入 △高い方がよい
「帰属収入」とは、授業料などの学校法人の負債とならない収入。「消費支出」とは、人件費、教育研究経費や管理経費など学校法人が経常的に支出する経費。この比率がプラスで大きいほど自己資金は充実。
- ② 人件費比率 (人件費/帰属収入) ▼低い方がよい
学校法人の場合「人件費」が「消費支出」の中で最大の割合を占めているため、この比率が特に高くなると、「消費支出」全体を大きく膨張させ、消費収支の悪化を招きやすい。
- ③ 総負債比率 (総負債/総資産) ▼低い方がよい
「総資産」に対する「総負債」の割合。100パーセント以下で低い方が望ましい。
- ④ 前受金保有率 (現金預金/前受金) △高い方がよい
翌年度の「帰属収入」となるべき授業料等の「前受金」が、翌年度繰越支払資金として当該年度末に保有されているかどうかをみるもの。
- ⑤ 流動比率 (流動資産/流動負債) △高い方がよい
短期的な支払い能力を示す指標。現金預金または現金化が短期的に可能な資産である。「流動資産」と、一年以内に返済義務を負う「流動負債」の比較から、短期的な資金繰りの見通しを分析する指標。



3.3 企業会計の勘定科目との対比

企業会計の勘定科目を学校会計の勘定科目に読み替えた表は次のとおりである。

表 1 企業会計の勘定科目との対比

企業会計	学校法人会計
I 売上高（営業収益）	学生生徒等+手数料+寄附金+補助金+事業収入 = 帰属収入-（資産運用収入+資産売却差額+雑収入）
II 売上原価	—
売上総利益	—
III 販売費及び一般管理費（営業費用）	人件費+教育研究費+管理経費 = 消費支出-（借入金等利息+資産処分差額+徴収不能額）
営業利益	帰属収入-（資産運用収入+資産売却差額+雑収入） - [消費支出-（借入金等利息+資産処分差額+徴収不能額）] = 帰属収支差額-（資産運用収入+資産売却差額+雑収入） +（借入金等利息+資産処分差額+徴収不能額）
IV 営業外収益	
受取利息及び配当金	受取利息・配当金等
為替差益	—
雑収入	雑収入
V 営業外費用	
支払利息	借入金等利息
経常利益	帰属収支差額-（資産売却差額-（資産処分差額+徴収不能額））
VI 特別利益	
投資有価証券売却益	資産売却差額
VII 特別損失 投資有価証券評価損	資産処分差額 徴収不能額
税引前当期純利益	—
法人税等	—
当期純利益	—

（出所）大和総研資本市場調査部作成

この比較表に準じ本学園の消費収支計算書を企業会計の科目に並べて比較したものが、表 2 である。

表 2

（単位：千円）

	H21 決算	H22 決算	H23 決算	H24 決算	H25 算
売上高（学納金等）	1,879,466	1,846,901	2,209,779	2,024,669	2,020,011
売費及び一般管理費（人件費等）	1,890,730	1,766,087	2,040,006	1,978,605	2,004,173
営業利益	-11,264	80,814	169,773	46,064	15,838
営業外収益（雑収入・資産運用）	112,523	38,693	108,116	101,977	105,419
営業外費用（借入利息）	8,141	7,016	5,793	4,578	3,352
経常利益	93,118	112,491	272,096	143,463	117,905
特別損失（資産処分等）	4,656	4,136	2,215	4,927	418
税引前当期純利益	88,462	108,355	269,881	138,536	117,487

(4) 学校法人会計計算書類の主な科目説明

4.1 資金収支計算書

当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)中の教育活動等の諸活動に対応するすべての資金の動きから、当該年度の収入と支出の内容と並びに支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするもの。

4.2 消費収支計算書 当該会計年度の消費収入と消費支出の内容とその均衡状況を明らかにするためのもの。企業会計における「損益計算書」に相当するもの。消費収支計算書は、収入と支出の均衡だけでなく、財務の効率、財務状況の指標をあらわすもの。

- ① 帰属収入 学生納付金(入学金、授業料等)・手数料・寄付金などの学校法人に帰属する収入。借入金や翌年度に入学する学生・生徒の入学金・授業料等の前受金は含まない。
- ② 消費収入 帰属収入から基本金組入額を差し引いた収入。
- ③ 消費支出 人件費・教育研究経費・管理経費・借入金利息などの支出。退職金給与引当金繰入額や時間的経過による建物等の資産価値の減少額である減価償却額を含む。
- ④ 基本金組入額 学校法人の計画に基づき、必要な資産を継続的に維持するための金額。第1号～第4号基本があり、それぞれ帰属収入の中から組入する。

4.3 計算書の各科目の説明

科目	資金収支 計算書	消費収支 計算書	内 容
学生生徒等納付金	○	○	授業料、入学金等の学生・生徒・園児から納入されるもの。
手数料	○	○	入学検定料や証明書発行手数料。
補助金	○	○	国や地方公共団体等からの補助金。
資産運用収入	○	○	受取利息や施設利用料等。
事業収入	○	○	食堂等の収入、外部からの受託研究収入等。
人件費	○	○	専任教職員、非常勤講師、契約職員の給与、所定福利、退職掛金
教育研究経費	○	○	教育・研究活動や学生・生徒・園児の諸活動経費。
管理経費	○	○	教育研究活動以外の支出する経費。
前受金収入	○		翌年度分の授業料・施設費等が当年度に納付された収入
施設関係支出	○		建物、構築物、建設勘定等の支出。
設備関係支出	○		教育研究用機器備品、その他の機器備品、図書、車両等の支出
帰属収入		○	(2) 消費収支計算書参照
消費支出		○	(2) 消費収支計算書参照

退職給与引当 金繰入額		○	退職金給与引当金の繰入額。
減価償却額		○	固定資産の経年変化による償却額。
資産処分差額		○	資産の帳簿残高が当該資産の売却収入金額を超える場合のその 超過額で、除却損または廃棄損を含む。
基本金組入額		○	(2) 消費収支計算書参照

○は科目が記載されている計算書

2. 平成25年度計算書類 開示する財務帳票は次のとおりである。

表4-1 資金収支計算書

表4-2 消費収支計算書

表4-3 貸借対照表

表4-4 財産目録

監事監査報告書

資金収支計算書
平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,139,216,700	1,149,651,200	△ 10,434,500
手数料収入	22,538,620	24,983,540	△ 2,444,920
寄付金収入	29,370,000	31,641,000	△ 2,271,000
補助金収入	802,550,710	801,977,910	572,800
国庫補助金収入	262,669,000	262,669,000	0
地方公共団体補助金収入	409,119,600	410,276,600	△ 1,157,000
授業料軽減等公共団体補助金収入	52,957,000	51,525,500	1,431,500
保育園運営費補助金収入	77,805,110	77,506,810	298,300
資産運用収入	4,669,312	4,686,940	△ 17,628
資産売却収入	0	0	0
事業収入	8,150,924	8,733,951	△ 583,027
雑収入	91,679,645	91,001,914	677,731
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	190,808,500	188,248,000	2,560,500
その他の収入	251,512,725	296,816,864	△ 45,304,139
資金収入調整勘定	△ 258,899,422	△ 258,129,958	△ 769,464
前年度繰越支払資金	808,237,059	808,237,059	0
収入の部合計	3,089,834,773	3,147,848,420	△ 58,013,647
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,320,007,337	1,321,214,977	△ 1,207,640
教育研究経費支出	332,092,730	332,067,168	25,562
管理経費支出	167,399,867	166,634,048	765,819
借入金等利息支出	3,352,678	3,352,678	0
借入金等返済支出	52,092,000	52,092,000	0
施設関係支出	84,907,181	74,439,681	10,467,500
設備関係支出	25,984,705	25,809,355	175,350
資産運用支出	118,546,000	100,000,000	18,546,000
その他の支出	208,139,786	245,120,419	△ 36,980,633
[予備費]	411,517		373,000
資金支出調整勘定	△ 77,597,707	△ 77,268,603	△ 329,104
次年度繰越支払資金	854,498,679	904,386,697	△ 49,888,018
支出の部合計	3,089,834,773	3,147,848,420	△ 58,013,647

消費収支計算書

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,139,216,700	1,149,651,200	△ 10,434,500
手数料	22,538,620	24,983,540	△ 2,444,920
寄付金	32,200,699	34,663,045	△ 2,462,346
補助金	724,745,600	724,471,100	274,500
国庫補助金	262,669,000	262,669,000	0
地方公共団体補助金	409,119,600	410,276,600	△ 1,157,000
授業料軽減等公共団体補助金収入	52,957,000	51,525,500	1,431,500
保育園運営費補助金収入	77,805,110	77,506,810	298,300
資産運用収入	4,669,312	4,686,940	△ 17,628
資産売却差額	0	0	0
事業収入	8,150,924	8,733,951	△ 583,027
雑収入	91,679,645	100,733,444	△ 9,053,799
帰属収入合計	2,101,006,610	2,125,430,030	△ 24,423,420
基本金組入額合計	△ 63,500,000	△ 172,830,132	109,330,132
消費収入の部合計	2,037,506,610	1,952,599,898	84,906,712
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,353,029,337	1,331,997,747	21,031,590
教育研究経費	445,569,793	483,658,456	△ 38,088,663
管理経費	179,111,638	188,518,661	△ 9,407,023
借入金等利息	3,352,678	3,352,678	0
資産処分差額	3,040,000	418,912	2,621,088
徴収不能引当金繰入額(又は徴収不能額)	7,000,000	2,402,807	4,597,193
[予備費]	928,974		
消費支出の部合計	1,992,032,420	2,010,349,261	△ 18,316,841
当年度消費収入超過額□	45,474,190	0	
当年度消費支出超過額		57,749,363	
前縁度繰越消費支出超過額	2,585,544,243	2,585,544,243	
(何)年度消費支出準備金取崩額	0		
基本金取崩額	0	0	
翌年度繰越消費支出超過額	2,540,070,053	2,643,293,606	

注記

1. 重要な会計方針

(1)引当金の計上基準

○徴収不能引当金 期末未収入金の徴収不能に備えるため、徴収不能実績率により見込額を計上している。

○退職給与引当金 退職給与引当金の額の算定方法は次のとおりである。

a 大学及び短期大学部 退職金の支給に備えるため、期末要支給額 286,884,100 円の 100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との調整額を加減した金額を計上している。

b 高等学校、幼稚園及び保育園は私立学校退職金団体に加入しており退職給与引当金は計上していない。

2. 重要な会計方針の変更等 なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 2,972,019,628 円

4. 徴収不能引当金の合計額 2,656,158 円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 定期預金 20,000,000 円
土地 725,745,513 円
建物 2,069,989,498 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金へ組入れを行うこととなる額 253,081,570 円

7. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1)現金預金の中に校外研修預り金 22,801,468 円が含まれている。

(2)有価証券の時価情報

種類	当年度（平成 26 年 3 月 31 日）		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	99,400,000	102,140,000	2,740,000
（うち満期保有目的の債券）	(99,400,000)	(102,140,000)	(2,740,000)
合 計	99,400,000	102,140,000	2,740,000

(3)通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

①平成 21 年 4 月 1 日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	12,738,600 円	3,865,155 円
その他の機器備品	8,775,900 円	5,015,850 円
消耗品	3,975,300 円	1,987,650 円

貸借対照表
平成25年3月31日
平成26年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	3,805,325,003	3,865,654,947	△ 60,329,944
有形固定資産	3,553,868,390	3,614,198,334	△ 60,329,944
土地	793,654,803	793,654,803	0
建物	2,146,998,031	2,206,440,396	△ 59,442,365
構築物	83,305,554	65,930,024	17,375,530
教育研究用機器備品	172,699,441	200,813,499	△ 28,114,058
その他の機器備品	2,853,224	1,927,150	926,074
図書	349,578,337	345,432,462	4,145,875
建設仮勘定	4,779,000	0	4,779,000
その他の固定資産	251,456,613	251,456,613	0
電話加入権	2,056,613	2,056,613	0
有価証券	99,400,000	99,400,000	0
長期定期預金	0	100,000,000	△ 100,000,000
施設設備維持引当資産	100,000,000	0	100,000,000
第3号基本金引当資産	50,000,000	50,000,000	0
流動資産	974,018,021	906,318,243	67,699,778
現金預金	904,386,697	808,237,059	96,149,638
未収入金	69,147,525	87,291,808	△ 18,144,283
貯蔵品	478,374	10,772,162	△ 10,293,788
前払金	5,425	17,214	△ 11,789
資産の部合計	4,779,343,024	4,771,973,190	7,369,834
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	583,504,318	631,834,798	△ 48,330,480
長期借入金	285,444,000	317,536,000	△ 32,092,000
退職給与引当金	263,445,073	262,393,833	1,051,240
長期未払金	34,615,245	51,904,965	△ 17,289,720
流動負債	363,932,681	423,313,136	△ 59,380,455
短期借入金	32,092,000	52,092,000	△ 20,000,000
未払金	94,541,109	123,104,869	△ 28,563,760
前受金	188,248,000	190,386,500	△ 2,138,500
預り金	49,051,572	57,729,767	△ 8,678,195
負債の部合計	947,436,999	1,055,147,934	△ 107,710,935
基本金の部			
第1号基本金	6,292,199,631	6,119,369,499	172,830,132
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	50,000,000	50,000,000	0
第4号基本金	133,000,000	133,000,000	0
基本金の部合計	6,475,199,631	6,302,369,499	172,830,132
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
(何)年度消費支出準備金	0		
翌年度繰越消費支出超過額□	2,643,293,606	2,585,544,243	57,749,363
消費収支差額の部合計	△ 2,643,293,606	△ 2,585,544,243	△ 57,749,363
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,779,343,024	4,771,973,190	7,369,834

平成25年度

財 産 目 録

I	資産総額		4,779,343,024 円
	内訳	基本財産	3,805,325,003 円
		運用財産	974,018,021 円
II	負債総額		947,436,999 円
III	正味財産		3,831,906,025 円

区分		金額
資産額		
1	基本財産	
	土地	
	校地	120,079 m ² 730,661,789 円
	その他	24,405 m ² 62,993,014 円
	建物	
	校舎	29,930 m ² 2,146,998,031 円
	構築物	83,305,554 円
	建設仮勘定	4,779,000 円
	図書	349,578,337 円
	教育研究用備品	172,699,441 円
	その他の機器備品	2,853,224 円
	電話加入権	2,056,613 円
	有価証券	99,400,000 円
	施設整備維持引当資産	100,000,000 円
	第3号基金引当資産	50,000,000 円
2	運用財産	
	現金預金	904,386,697 円
	未収入金	69,147,525 円
	貯蔵品	478,374 円
	前払金	5,425 円
資産総額		4,779,343,024 円
負債額		
1	固定負債	
	長期借入金	285,444,000 円
	退職給与引当金	263,445,073 円
	長期未払金	34,615,245 円
2	流動負債	
	短期借入金	32,092,000 円
	未払金	94,541,109 円
	前受金	188,248,000 円
	預り金	49,051,572 円
負債総額		947,436,999 円
正味財産 (資産総額－負債総額)		3,831,906,025 円

監査報告書

平成 26 年 5 月 22 日

学校法人 三島学園
理事長 浅尾 豊信 殿

学校法人 三島学園

監事 小坂 信雄 

監事 三島 卓郎 

私たちは、学校法人三島学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。